

シマトネリコ

モクセイ科・トネリコ属（常緑小高木）

特徴

高さ15mほどになり、暖地を好みますが、関東地方以西であれば庭植えでも冬越しします。5月下旬から7月にかけて、枝先に小さな白い花が房のように咲き、やがて結実して白色の翼（よく）をもったタネが見られます。樹形は、細い幹が数本立ち並ぶ株立ち仕立てのほうが、柔らかかで自然な感じになり、シンボルツリーとして人気があります。思いのほか成長が早く、枝葉が繁茂しやすいため、剪定によって大きさを抑制する必要があります。



場所

庭植えでも、鉢植えでも育てられます。日当たりがよく、水はけの良い場所を好みます。日当たりが少ないと花つきが悪くなります。庭植えでは根づくると急速に枝が伸びるので、植えつけ場所を選びましょう。

用土

水はけのよい土が適しています。鉢植えの場合は、赤玉土小粒7～8、腐葉土3～2の割合で混ぜた土を使います。

水やり

庭植えの場合は、植え付け後はしっかり水を与え、根付いてからは特に必要ありません。鉢植えの場合は、表土が乾いたらたっぷり水を与えます。

肥料

庭植えの場合、2月ごろに株元の周辺に緩効性肥料を埋め込みます。鉢植えの場合は、3月に緩効性肥料を株元に置きます。

植え付け

4月に行います。地面に苗木の根鉢より2倍ほどの植え穴を掘り、掘りあげた土に腐葉土、肥料などを混ぜ合わせます。混ぜ合わせた土を植え穴の3分の1程戻し、そこに根鉢を少しくずした苗木を置き、残りの土を戻して埋めます。植え穴と同じ大きさに土を高く盛り、苗木の周りが水が溜まるぐらいの水鉢を作り、水を入れます。植木を左右に少しゆらしながら水を注ぐと土中の空気が抜けます。水が引いたら支柱をたてます。

剪定

枝が良く伸びるので3～4月上旬、6～7月上旬、9～12月上旬に必要なに応じて随時剪定します。枝が分枝している所から切り取ります。枝先に花が咲くので、開花期前の剪定は必要最小限にします。